

環境経営レポート

2022年度版

(集計期間 2022年 5月 1日 ~ 2023年 4月 30日)



2023年 5月 31日発行

次回発行予定 2024年 5月

〒963-6103 福島県東白川郡棚倉町大字逆川字北原地8

目黒プレス工業株式会社

TEL 0247-33-2195

FAX 0247-33-4699

<https://www.meguro.ecnet.jp>

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たち目黒プレス工業株式会社では自動車・建機用部品を主に製造しておりますが当業界においても環境への負荷の低減は重要な課題です。

多品種少量生産など、顧客要求の変化に柔軟に対応できるよう継続的な改善を実施する事で、企業価値の向上を目指すとともに、ものづくりを通して持続可能な社会の実現と環境の保全に貢献していきます。

活動指針

1. 電力、燃料使用量の削減に取り組み、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
2. 事業所内で使用する水量の削減に努めます。
3. 廃棄物のリサイクル化を進めるとともに、排出量の削減に努めます。
4. 環境に関する法規制・条例・要求事項等を遵守し、地域社会との調和を図ります。
5. 環境教育を実施し、従業員の環境に対する意識向上を図ります。
6. 環境経営方針は従業員に周知し、HP・レポート等を通じ外部に公表致します。

作成 2007年 2月 8日

改訂 2019年 5月 7日

目黒プレス工業株式会社 福島工場

代表取締役

近藤 亨

Ⅱ. 事業内容の概要

- (1) 事業所名及び代表者氏名
 目黒プレス工業株式会社
 代表取締役 近藤 寿幸

- (2) 所在地
 福島工場 福島県東白川郡棚倉町大字逆川字北原地8番（認証・登録範囲）
 本 社 東京都大田区京浜島2丁目8番3号（登記上のみの為対象外）



- (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先
 環境管理責任者 福島工場 工場長 松本 春吉
 担当者 企画課 課長 稲守 康人

連絡先 TEL : 0247-33-2195
 FAX : 0247-33-4699
 E-mail : y-inamori@meguro.ecnet.jp

- (4) 事業の主な内容（認証・登録の対象活動範囲）
 自動車用部品、建築用金物等に関するプレス加工・溶接加工製品の製造

- (5) 事業の規模等

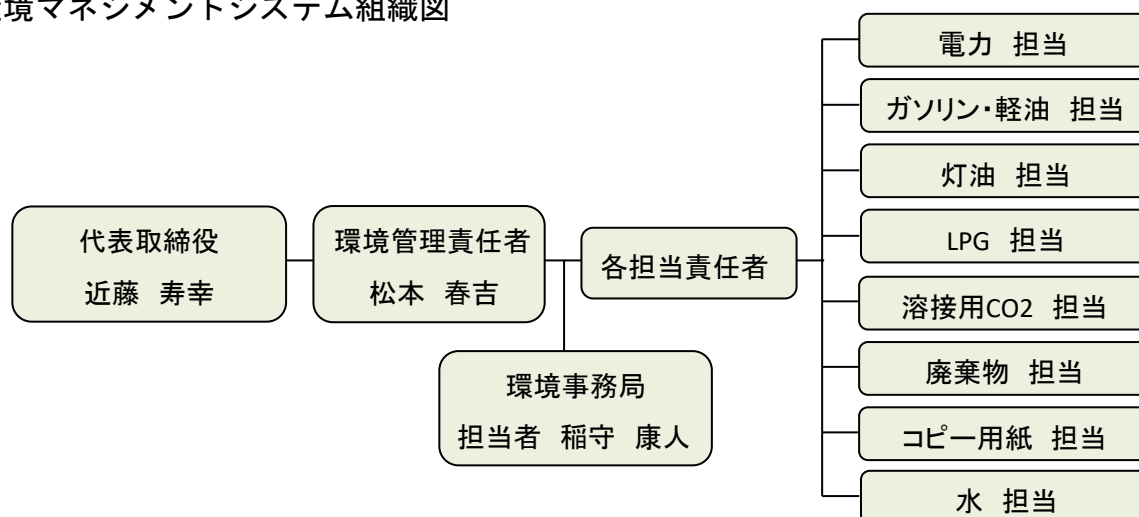
項目	単位	2022年度	2021年度	2020年度
主要製品生産量	t	1,366	1,624	1,543
売上高	百万円	526	506	495
従業員	人	39	43	43
敷地面積	m ²	14,701	14,701	14,701
建築面積	m ²	3,721	3,721	3,721

Ⅲ. 環境マネジメントシステム実施・責任体制

制定日 2019年 5月 27日
改訂日 2023年 5月 17日
代表取締役 近藤 寿幸

●対象範囲 目黒プレス工業(株) 福島工場

●環境マネジメントシステム組織図



●責任と権限

①代表者

- ・環境経営方針の策定と見直しを行う。
- ・事業経営の課題とチャンスの整理を行う。
- ・実施体制において、各自の役割・責任・権限を定め、全従業員に周知する。
- ・環境経営システムの運用及び維持に必要な資源（人・物・費用・情報）を用意する。
- ・環境管理責任者を任命する。
- ・毎年5月に環境経営目標・活動経営計画の達成度・実施体制等、環境経営システム運営上の全体評価と見直しを行う。

②環境管理責任者

- ・環境経営システムの構築及び運用の統括管理をする。
- ・環境関連文書について必要に応じ確認を行う。
- ・法規制等要求事項管理表を確認する。
- ・環境経営目標・活動経営計画の達成状況の報告を受け、必要時には問題の是正を指示する。
- ・環境経営目標・活動経営計画の達成状況等について、毎年5月に代表者へ報告する。

③環境事務局

- ・環境経営システムの構築及び運用に関して、環境管理責任者の業務を補佐する。
- ・各種文書の原案の作成、及び環境経営システムに関する資料を管理する。
- ・環境への負荷の自己チェック、及び環境への取組の自己チェックを実施し、環境管理責任者へ報告する。
- ・環境関連法規一覧表の取りまとめ及び管理を行う。
- ・環境経営レポートを作成する。
- ・環境経営目標・活動経営計画の実績を集計する。

④担当責任者

- ・自部署における環境経営システムを実施する。
- ・自部署における環境経営方針の周知と、従業員に対する教育を行う。
- ・自部署に関連する環境経営目標・活動経営計画を実施し、達成状況を環境管理責任者に報告する。
- ・自部署の問題点の発見・是正・予防処置を行う。

⑤従業員

- ・環境経営方針を理解し、自らの役割を十分に認識した上で、自ら評価・改善をし業務上で実施する。

IV. 環境負荷低減の中長期目標と実績

(2021年度以降の目標と実績)

目標策定日 2021年 5月27日

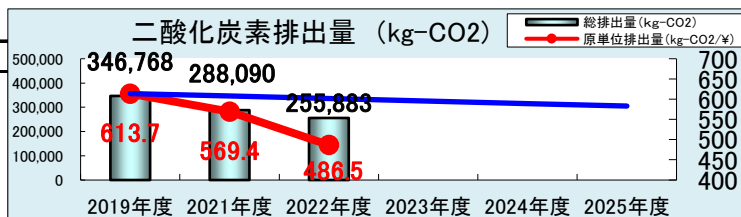
年度	基準年度 (基準値)	2021年度 (目標値)	2022年度 (目標値)	2023年度 (目標値)	2024年度 (目標値)	2025年度 (目標値)
総製品生産量 (¥)	2019年度 565	-	-	-	-	-
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/¥)	2019年度 613.7	-1%	-2%	-3%	-4%	基準値比-5% 583.0
廃棄物排出量 (kg/¥)	2018年度 16.01	-1%	-2%	-3%	-4%	基準値比-5% 15.21
水使用量 (m³/¥)	2019年度 0.896	-1%	-2%	-3%	-4%	基準値比-5% 0.851
グリーン購入量 (%)	2020年度 62.4%	+1%	+2%	+3%	+4%	基準値比+5% 67.4%
工程内不良の削減 (kg/¥)	2019年度 4.20	-1%	-2%	-3%	-4%	基準値比-5% 3.99
化学物質使用量	対象物質購入量を管理中。新規購入品の含有物質調査も継続して進めていく					

注1：目標の達成度合によっては、目標値の見直しを行う。 注2：本計画中は東北電力排出係数 0.528を使用

1. 二酸化炭素排出量

中長期目標に対する評価

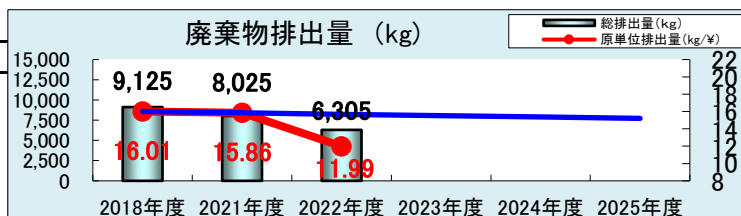
◎ 総使用量・原単位量共に目標を達成。電力の取組効果大きい。



2. 廃棄物排出量

中長期目標に対する評価

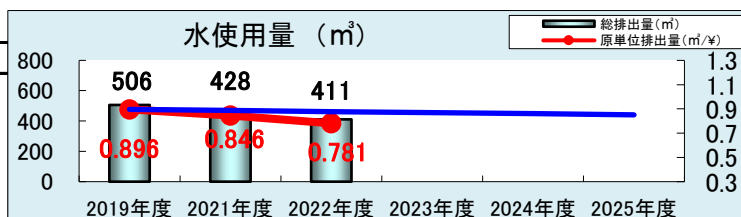
○ 総排出量・原単位量共に目標を達成。木くずの排出が無かった事が大きい。



3. 水使用量

中長期目標に対する評価

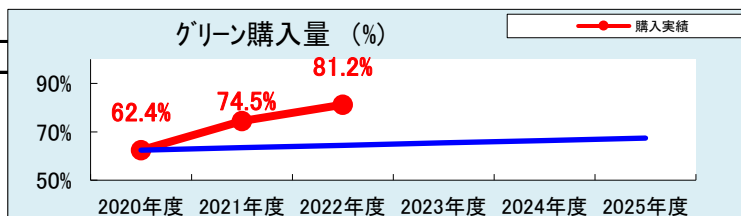
◎ 総使用量・原単位量共に目標を達成。漏水の管理を引き続き進めていく。



4. グリーン購入量

中長期目標に対する評価

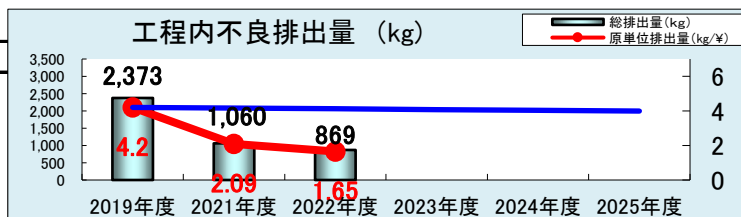
◎ 事務用品を主にグリーン購入率81.2%と目標を達成できた。引き続き品目の拡大を進める。



5. 工程内不良排出量

中長期目標に対する評価

◎ 総排出量・原単位量共に目標を達成。



6. 化学物質使用量

中長期目標に対する評価

○ 対象物質の品目増減はなく、昨年までと同様にノルマルヘキサンの購入量を管理した。44.9kgと指定数量以下の使用だった。

【評価基準】 達成率100%以上→◎、90%~99%→○、70%~89%→△、70%未満→×

V. 環境経営目標と実績

作成日 2023年 5月 26日

項目	単位	活動実績 2022年度 原単位: 526							活動計画 2023年度		
		総数量 原単位量	基準値 各年実績	削減目標		実績値 21年実績	削減率	達成率	評価	削減目標	
				基準値比	目標値					基準値比	目標値
二酸化炭素	電力 使用量	kWh	520,588		510,176	375,307	28%	135.9%	◎		504,970
		kWh/¥	921	2%	903	714	22%	126.4%		3%	893
	ガソリン 使用量	ℓ	2,933		2,874	2,304	21%	124.8%	◎		2,845
		ℓ/¥	5.17	2%	5.07	4.38	15%	115.7%		3%	5.01
	軽油 使用量	ℓ	4,259		4,174	3,365	21%	124.0%	◎		4,131
		ℓ/¥	7.54	2%	7.39	6.40	15%	115.5%		3%	7.31
	灯油 使用量	ℓ	10,504		10,294	8,191	22%	125.7%	◎		10,189
ℓ/¥		18.59	2%	18.22	15.57	16%	117.0%	3%		18.03	
LPG 使用量	kg	8,144		7,981	6,747	17%	118.3%	◎		7,900	
	kg/¥	14.41	2%	14.12	12.83	11%	110.1%		3%	13.98	
溶接用 CO2 使用量	kg	3,540		3,469	3,060	14%	113.4%	◎		3,434	
	kg/¥	6.27	2%	6.14	5.82	7%	105.6%		3%	6.08	
二酸化炭素 排出量	kg-CO2	346,768		339,833	255,883	26%	132.8%	◎		336,365	
	kg-CO2/¥	613.7	2%	601.4	486.5	21%	123.6%		3%	595.29	
廃棄物	可燃物 排出量	kg	4,585		4,493	4,250	7%	105.7%	○		4,447
		kg/¥	8.04	2%	7.88	8.08	△0.5%	97.5%		3%	7.80
	木屑 排出量	kg	2,620		2,568	0	-	-	◎		2,541
		kg/¥	4.59	2%	4.50	0.00	-	-		3%	4.45
	ニス・軍手 排出量	kg	1,920		1,882	2,055	△7%	91.6%	△		1,862
		kg/¥	3.37	2%	3.30	3.91	△16%	84.5%		3%	3.27
	廃プラ 排出量	kg	1,280		1,254	0	-	-	◎		1,242
kg/¥		2.24	2%	2.20	0.00	-	-	3%		2.17	
回収油 排出量	kg	2,610		2,558	990	62%	258.4%	◎		2,532	
	kg/¥	4.58	2%	4.49	1.88	59%	238.7%		3%	4.44	
コピ-用紙 使用量	kg	284		278	175	38%	159.0%	◎		275	
	kg/¥	0.498	2%	0.488	0.333	33%	146.6%		3%	0.483	
廃棄物 総排出量	kg	9,125		8,943	6,305	31%	141.8%	◎		8,851	
	kg/¥	16.01	2%	15.69	11.99	25%	130.9%		3%	15.53	
水使用量	m ³	506		496	411	19%	120.7%	◎		491	
	m ³ /¥	0.896	2%	0.878	0.781	13%	112.4%		3%	0.869	
グリーン 購入量	%	62.40%	+2%	63.40%	81.20%	+18.8%	128.1%	◎	+3%	65.40%	
工程内不良 排出量	kg	2,373		2,326	869	63%		◎		2,302	
	kg/¥	4.20	2%	4.12	1.65	61%	249.5%		3%	4.07	
化学物質 使用量	2022年度 ノルマルヘキサン購入量（スプレーのり含有） 44.9kg 指定数量以下の為、引き続き管理を進めていく。										

【評価基準】 達成率100%以上→◎、90%~99%→○、70%~89%→△、70%未満→×

※ 業務量の変動の影響除外の為に評価には原単位を採用した。（原単位排出量 = 総排出量 ÷ 売上高）

※ 2021年度からの目標値は東北電力調整後排出係数 0.528を使用（R3年1月公表データ）

VI. 環境経営計画の取組結果と評価及び見直し 2021年度

作成日 2023年 5月26日

項目		取組計画内容				評価	評価コメント
二酸化炭素	電力 使用量	・不使用機械・設備の電源OFFの徹底 ・エアコンのフィルターの定期清掃				○	取組は実施され問題はなかった。 事務棟の蛍光灯をLEDに交換した。
		目標	2%	実績	22%		
	ガソリン 軽油 使用量	・省エネ運転・アイドリングストップの励行 ・輸送の計画化（少量輸送の削減） ・社用車の定期点検				○	各取り組みに問題はなかった。 社用車の1台削減を検討中。
		目標	各2%	実績	項目別		
	灯油 使用量	・暖房機の温度調整 ・ON/OFFのこまめな管理				○	取組は実施されており。目標を達成できた。
		目標	2%	実績	16%		
LPG 使用量	・省エネ運転・アイドリングストップの励行 ・フォークリフトの定期点検				○	取組は実施されており。目標を達成できた。	
	目標	2%	実績	11%			
溶接用 CO2 使用量	・設備・作業法の見直し、作業工数の削減 ・設備保守による流量の管理				○	業務内容によって増減はあるが、取組は 日常的に行われている。	
	目標	2%	実績	7%			
二酸化炭素 総排出量	電力・ガソリン・軽油・灯油・LPG・ 溶接用CO2の各項目の取組による削減				○	各項目において、取組は実施されていた事を 確認した。	
	目標	2%	実績	21%			
廃棄物	廃棄物 排出量	・梱包材のリサイクル・過剰梱包の削減 ・ウエス軍手の再利用・木枠台木の管理 ・設備保全による油漏れの削減と再利用				△	各取組に問題は無く実施されていたが 可燃物と布類で未達となってしまった。
		目標	各2%	実績	項目別		
	コピー用紙 使用量	・裏紙使用の推進・回覧文書等のメール化 ・文書のレイアウト見直し等、文書の簡素化				○	コピー用紙の両面使用は周知・実施されてい る。現書類の必要性なども検討したい。
廃棄物 総排出量	可燃物・木屑・ウエス・軍手の各項目による 取組				○	各項目において、取組は実施されていた事を 確認した。	
	目標	2%	実績	25%			
水	水使用量	・漏水管理・節水表示と喚起 ・冷却水設備のオーバーフロー管理				○	取組は実施され、問題はなかった。
		目標	2%	実績	13%		
工程内不良 排出量	・改善・予防措置による工程内不良の削減 ・帳票類の整備による作業の標準化				○	改善・対策・作業標準化等が実施されていた。 継続した教育・レベルアップを進める。	
	目標	2%	実績	61%			
グリーン 購入量	・購入見積時グリーン適合品調査と優先購入 ・その他環境配慮製品への切替と購入				○	事務用品での優先購入を推進し、結果もでて いるが、品目を広げるよう努力する。	
	目標	+2%	実績	+18.8%			
化学物質 使用量	・新規購入時の化学物質含有調査 ・得意先等からの依頼への対応				○	ノルマルヘキサン（スプレーのり）の取入量の 管理と各種調査依頼への対応を実施した。	

【評価基準】 実施状況・効果ともに良→○、実施状況・効果どちらか悪→△、実施状況・効果ともに悪→×

◎ 総合評価と見直し

二酸化炭素、廃棄物、水の主要項目においては全て目標値を達成でき、取り組み内容に大きな問題は見られなかった。今年度では、昨年の工場内の水銀灯交換に続き事務棟の照明をLED器具に交換し(3月)次年度の削減につながる取組を実施できた。

VII. 2023年度 環境経営計画

作成 2023年 5月 26日

低減目標		各項目毎基準値より各項目ごとの%削減		担当部署	
項目	削減率	取組計画内容		担当責任者	
二酸化炭素	電力使用量	3%	・不使用機械・設備の電源OFFの徹底 ・エアコンのフィルターの定期清掃	全部署 生産技術課 課長	
	ガソリン使用量	3%	・省エネ運転・アイドリングストップの励行 ・輸送の計画化（少量輸送の削減） ・社用車の定期点検	全部署	
	軽油使用量			営業課 課長	
	灯油使用量	3%	・暖房機の温度調整 ・ON/OFFのこまめな管理	全部署 購買管理課 課長	
	LPG使用量	3%	・省エネ運転・アイドリングストップの励行 ・フォークリフトの定期点検	全部署 納入管理係 主任	
	溶接用CO ₂ 使用量	3%	・設備・作業法の見直しによる作業工数の削減 ・設備保守による流量の管理	第二製造係 製造課 課長	
	二酸化炭素総排出量	3%	電力・ガソリン・軽油・灯油・LPG・溶接用CO ₂ の各項目による削減	全部署 各担当責任者	
廃棄物	廃棄物 排出量	可燃物	3%	・梱包材のリサイクル推進 ・過剰梱包の削減（ラップ使用量）	全部署
		ウエス・軍手	3%	・軽使用品の再利用（ウエス・手袋）	
		木屑	3%	・木枠・台木の管理・返却によるリサイクル	品質保証課 課長
		廃プラ・回収油	3%	・設備保全による油漏れの削減と再利用	
	コピー用紙使用量	3%	・裏紙使用の推進 ・回覧文書等の電子メール化 ・文書のレイアウト見直し等、文書の簡素化	全部署 生産管理係 主任	
	廃棄物総排出量	3%	・可燃物・ウエス・軍手・木屑の各項目の取組による削減 ・各種廃棄物の分別強化と有価物化の推進	全部署 品質保証課 課長	
水使用量 (総排水量)	3%	・漏水管理 ・冷却水設備のオーバーフロー管理 ・節水表示・喚起	全部署 第一製造係 係長		
工程内不良排出量	3%	・改善・予防措置による工程内不良の削減 ・帳票類の整備による作業の標準化	製造課・品証 品質保証課 課長		
グリーン購入量	+3%	・購入・見積時のグリーン適合品の調査と優先購入 ・その他環境配慮製品への切替と購入	環境管理責任者 環境事務局		
化学物質使用量	-	・新規購入時の化学物質含有調査 ・得意先等からの依頼への対応			
その他活動計画		・地域社会への配慮活動（油流出防止・クリーンアップ作戦等） ・環境情報の自発的取り入れと活用			

※ 年度計画は5月に作成する。

VIII. 2022年度 代表者による全体評価と見直しの結果

項目	検討内容	変更の 必要性	評価・指摘事項
環境経営方針	①内容の見直し ②変更事項の有無	無	変更の必要は無し
環境経営目標・計画 と達成状況	①目標値の妥当性 ②計画の有効性 ③計画の実施状況	無	主要項目での達成状況は良い結果がでている。 未達の項目については改善をすすめてほしい。
取組結果の評価	①評価の方法 ②評価基準の妥当性	無	特に問題は無し
環境経営システムの 実施体制と運営状況	①実施体制 ②システムの全体評価	無	変更の必要は無し
その他の運営状況	①事故等の予防措置 ②法規制の遵守状況 ③内外部からの要望 ④その他運営状況	無	会社の年度方針に環境活動の推進を追加した。 環境活動を身近なものとし、活動の活性化を期待する。

※ 代表者による見直しは毎年5月に行なう。 ※ その他必要に応じて（生産の大幅な変更等）臨時に見直しを行なう。

実施日 2023年 5月 25日

代表取締役 

IX. 環境関連法規に対する違反・訴訟等の有無

(1) 適用する環境関連法規と遵守事項

確認日 2023年 5月 22日

主な適用法規	主な規制内容・関連設備及び施設	遵守状況
地球温暖化対策の推進に関する法律	製造業務に関する電力・化石燃料・廃棄物の削減	○
グリーン購入法	業務に関わる購入品の環境物品の選択推進	○
環境配慮促進法	業務に関わる環境情報の開示	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正な保管・処分、文書管理	○
資源の有効な利用の促進に関する法律	廃棄物等資源の有効利用、文書管理	○
容器包装リサイクル法	一定小規模事業者の為適用除外	○
特定家庭用機器再商品化法	長期使用による排出抑制、適正引渡しと料金支払い	○
自動車リサイクル法	長期使用、再資源化に配慮した車両の購入、預託金	○
水質汚濁防止法	特定施設対象外	○
下水道法	特定施設対象外（棚倉町下水道条例による）	○
大気汚染防止法	業務用車・通勤車排ガス規制	○
騒音規制法	福島県生活環境の保全等に関する条例による	○
振動規制法	福島県生活環境の保全等に関する条例による	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律	省エネ措置の届出、保全状況の定期報告	○
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	騒音第三種・振動第二種区域、特定工場対象外	○
化管法/PRTR法	指定数量以下、届出義務なし	○
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理に関する特別措置法	保管等の届出	○
工場立地法	工場設置届	○
消防法	少量貯蔵取扱い等の届出	○
白河地方広域市町村圏整備組合 火災予防条例	防火管理者届出 消防計画書	
道路交通法	整備不良車両の運転の禁止	○
高圧ガス保管法	指定数量以下、届出義務なし	○
じん肺法	じん肺健康診断	○
フロン排出抑制法	簡易点検・定期点検・漏えい時の報告	○
労働安全衛生法	衛生管理者選任、機械等設置・移転届出	○
労働安全衛生規則	一般健康診断、フォークリフト特定自主検査	○
有機溶剤中毒予防規則	特定健康診断、環境記録の保管	○
福島県環境基本条例	廃棄物、原材料等の適正管理	○
福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選任 管理台帳の整備と保管	○
福島県生活環境の保全等に関する条例	指定施設に関する届出	○
棚倉町公害防止条例	大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭等	○
棚倉町下水道条例	生活環境項目に係わる排水基準の遵守	○

(2) 環境関連法規への違反、及び関係当局よりの違反の指摘は、過去三年間ありませんでした。

また、5月の定期見直において改正・改訂・遵守状況をチェックした結果、問題はありませんでした。

(3) 今年度は、取引先等からの環境に関する依頼等が4件あり、全件に対応しました。

また、外部からの苦情等による指摘はありませんでした。（詳細は環境コミュニケーション記録に記す）

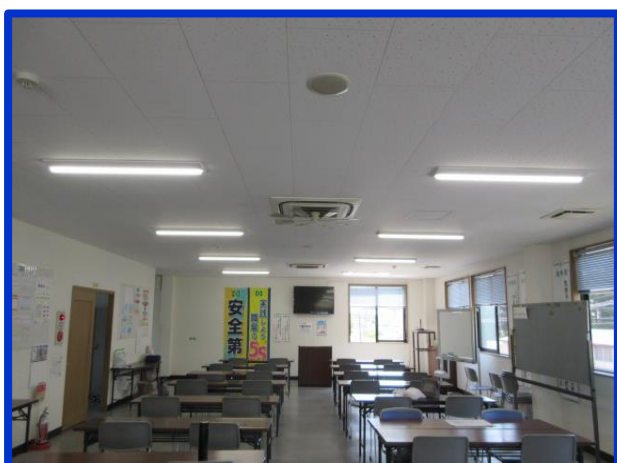
X. 2022年度 環境活動・取組の紹介



●事務所の蛍光灯をLED照明へ交換しました



●事務所 照明器具



●食堂の蛍光灯をLED照明へ交換しました



●食堂 照明器具



●今年度は工場での火災を想定して緊急事態訓練を実施しました-①



●訓練時の様子-②

